

京都市市民スポーツ振興計画スポーツの絆が生きるまち推進プラン 次期計画の策定について

1 策定の視点

京都市市民スポーツ振興計画は、本市都市経営の基本となる、次期京都市基本計画の分野別計画として位置付けられるものであるため、策定に当たっては、次期京都市基本計画の基本方針等に基づき策定を行う。

(概要・経過)

- 平成 23 年 3 月、平成 23 (2011) 年度から 10 年間の市民スポーツ振興のための総合的な仕組みづくりを目指す京都市市民スポーツ振興計画スポーツの絆が生きるまち推進プラン（以下「計画」という。）を策定。計画期間の中間年である平成 27 年度に計画の点検、見直しを実施
- 現在の計画は、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「支えるスポーツ」の 3 つの観点から、それぞれ 10 年後の達成目標数値を設定し、「ハードウェア」、「ソフトウェア」、「ヒューマンウェア」の 3 つの領域から施策を展開し、計画推進のために「スポーツインフラ京都」（ハードウェア）、「スポーツウェブ京都」（ソフトウェア）、「スポーツリエゾン京都」（ヒューマンウェア）を 3 つの重点戦略として設定
- 令和 3 年 3 月に現行計画の期間が終了することから、次期計画の策定を行う。次期計画の期限は、次期京都市基本計画（令和 3 年度～令和 7 年）に合わせて、5 年間とする。

2 次期京都市基本計画で議論されている内容

(1) 次期京都市基本計画に定める基本方針（案）

「だれもが、いつでも、どこでも、する・みる・支える、さまざまなかたちでスポーツやレクリエーションに親しみ、その環境をみんなで支え合うまちづくり」を市民、関係団体等と行政とが一体となって進める。市民ひとりひとりがスポーツを楽しむことで、健康や心の豊かさを享受するとともに、多様な仲間とつながる取組を推進する。スポーツと文化、産業、観光、環境、教育などがつながることで、京都のまちをさまざまな分野からより魅力あるものにする。

(2) 現状・課題

- ① 多様なニーズにこたえるスポーツ施設の提供が求められている。厳しい財政状況の下、府市協調の推進、民間資金の活用も含めた施設整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修が必要である。
- ② プロスポーツチームの試合や全国レベルの競技大会など、市民がトップレベルのスポーツに身近に触れられる機会が提供されている。企業による支援も進み、スポーツ振興に貢献しているが、これらの更なる促進が必要である。

- ③ 体育振興会やスポーツ推進指導員会は、地域におけるスポーツ振興の原動力であり、健康寿命の延伸や地域コミュニティの活性化にも大きな役割を果たしている。体育振興会の役員や参加者の固定化、スポーツ推進指導員の減少など、地域スポーツを支える新たな担い手の確保・育成が必要である。
- ④ 京都マラソンや駅伝大会などの大規模スポーツイベントは、京都の魅力発信等、多方面に効果が波及している。大規模国際スポーツ大会の国内開催によるスポーツに対する関心の高まりを、一層のスポーツ振興と健康づくり、ひとつのつながり、まちの魅力向上に結びつけることが必要である。

(3) みんなでめざす2025年の姿

- ① **スポーツを楽しみ、スポーツを通して健康で心豊かな暮らしを築いている**
市民がそれぞれの個性、関心等に応じて生涯にわたって自発的にスポーツを楽しむことができる環境が整備されることで、スポーツを通して健康で心豊かな暮らしを築くことができる。
- ② **スポーツを通して、多様なひととひととが繋がっている**
市民が年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、スポーツを楽しみ、その活動を支え合うことで、スポーツを通して互いの人格を尊重し、多様なひととひととが繋がっている社会を築くことができる。
- ③ **スポーツを身近に感じ、スポーツがまちの魅力を高めている**
市民がプロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができ、スポーツが文化、産業、観光、環境、教育など、さまざまな分野とつながることで、まち全体の魅力を高めることができる。

3 想定している施策の柱立て（案）

スポーツが身近にある健康で心豊かな暮らしの実現

- 施設の効果的・効率的な整備と運営の推進
- 競技環境と観戦環境の充実
- 生涯にわたってスポーツをみずから楽しむ機会の提供

スポーツの絆が生きる社会の推進

- スポーツを支える組織・担い手の育成
- スポーツによる共生社会の推進
- スポーツを通じた多様な主体の連携・協働

スポーツによるまちの魅力向上

- ワールドマスターズゲームズ2021 関西など総合スポーツイベントの開催
- スポーツを通じた交流の促進とまちの魅力発信
- プロスポーツや競技スポーツへの支援とその魅力の活用

4 達成目標数値の点検・見直し

「する・みる・支える」スポーツのそれぞれについて、現行計画で設定している達成目標数値について、現時点での達成度及び今後の見通し等を踏まえ、次期基本計画に対応した必要な見直しを行う。

5 策定方法

- ・ 平成 23 年度以降、毎年度、計画の進捗管理等を行っていただいている本会議（京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議）における議論を中心に実施
- ・ 現状やニーズ把握等のため、現行計画策定時も実施した「市民のスポーツに関する意識・活動状況調査」、「スポーツ関係団体等のヒアリング調査」を実施（別紙参照）

6 スケジュール

令和 2 年 2 月 京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議

- ・ 現行計画進捗状況の点検・評価
- ・ 次期計画の策定について

5 月～ 京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議

- 6 月 ・ 次期計画の方向性に関する意見聴取
- ・ 意識調査，ヒアリング調査について
- 市民のスポーツに関する意識・活動状況調査

6 月～ スポーツ関係団体等のヒアリング調査

7 月

9 月 京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議

- ・ 現行計画進捗見込み報告
- ・ 意識調査，ヒアリング調査の結果報告
- ・ 次期計画（案）に関する意見聴取

11 月～ 次期計画（案）に対する市民意見の募集（パブリックコメント）

12 月

2 月 京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議

- ・ 市民意見を踏まえた次期計画（案）に関する意見交換

3 月 次期計画策定